

令和2年度第1回阪南市子ども・子育て会議議事録

●開催日時

令和3年1月28日(木)午後7時05分～8時20分

●開催場所

阪南市役所 別棟1階 第2会議室

●出席者

【委員】

卜田会長、中西副会長、太田委員、坂口委員、谷本委員、根無委員、車谷委員、川上委員、濱井委員、立石委員、市口委員

【事務局】

重成こども未来部長、伊瀬生涯学習部長、中川生涯学習部副理事(兼)教育総務課長、嶋本こども政策課長、丹野学校教育課長、岩本こども家庭課長、宍道こども家庭課長代理、井谷学校教育課長代理(併)こども政策課長代理、宮本こども政策課総括主査、油谷こども政策課主事、川原こども政策課主事

●傍聴者:4名

●次第

1. 開会

2. 議題

(1) 阪南市子ども・子育て支援事業計画にかかる施策・事業等の実績報告について(資料1・2)

(2) 特定教育・保育施設における利用定員の設定について(資料3)

(3) 第2期阪南市子ども・子育て支援事業計画の変更について(資料4)

(4) その他

3. 閉会

次第1 開会

事務局

皆さま、こんばんは。

定刻を過ぎましたが、ただいまより、令和2年度第1回阪南市子ども・子育て会議を開催します。

本日は、お忙しい中、お越しいただきありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、留まることを知らず、さまざまな会議、イベントなどにも影響を及ぼしています。

本日の会議の開催につきましても、席の配置や換気などに配慮させていただいていますが、会議時間についてもコンパクトに収めたいと考えています。皆さま方には、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

本日の司会を務めさせていただきます、こども政策課長の嶋本です。よろしくお願いいたします。

着座にて進行させていただきます。

それでは、配布させていただいている次第に沿って進めさせていただきます。

はじめに、新委員の紹介をさせていただきます。

まず、阪南市PTA協議会の代表として、川上久美子様です。次に、阪南市社会福祉協議会の代表として、佐藤萌香様です。佐藤様におかれましては、本日は欠席となっています。また、事務局におきましても、昨年4月の人事異動に伴い、人の入れ替わりがございましたので、紹介させていただきます。こども政策課、主事の川原です。何とぞどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、資料の確認をお願いします。資料につきましては、事前に配布させていただいています、会議次第のほか、資料1から資料4及び参考資料と、本日お配りした委員名簿です。資料はお揃いでしょうか。過不足等があればお申し付けください。

全18名の委員のうち、現在10名の委員が出席されていますので、阪南市子ども・子育て会議条例第6条第2項に基づく定足数に達していることをご報告申し上げます。

なお、本会議におきましては、「会議の公開に関する指針」に基づき、原則、会議を公開することとしています。本日は、傍聴者の定員10名に対し、4名の方が傍聴されることになりましたことをご報告申し上げます。

また、議事録につきましては、事務局が要旨をまとめ、各委員にご確認いただいたのち、本市の情報公開コーナーや、市のウェブサイトにも掲載させていただきますので、よろしくお願ひします。

それでは、ここからは議題に入りますので、ト田会長、どうぞよろしくお願ひします。

会 長

よろしくお願ひします。ト田と申します。

踏切の直前横断か何かがあったようで、乗っていた電車が動かなくなり、遅れてしまいました。申し訳ございません。

本日は、今年度第1回の子ども・子育て会議ということで、大変お忙しい中、委員の皆さま方におかれましては、本会議にご出席いただきまして本当にありがとうございます。

また、先ほど、嶋本課長のあいさつにもございましたが、新型コロナウイルスが会議やイベントなどに様々な影響を及ぼしています。本日の会議もできるだけスムーズな進行により、20時を目途に会議をまとめたいと事務局から提案いただいていますので、よろしくお願ひします。

では、早速ですが、議事に入らせていただきます。

まずは、議題の一つ目です。阪南市子ども・子育て支援事業計画にかかる施策・事業等の実績報告について、事務局から説明をお願ひします。

次第2 議題(1) 阪南市子ども・子育て支援事業計画にかかる施策・事業等の実績報告について

事 務 局

<資料1・2について説明>

会 長

ありがとうございました。

委員の皆さまから事前にご質問やご意見など、非常に重要なところをたくさん聞いていただいていたように思います。それに対して事務局や事業担当課から回答をいただきましたが、今の説明につきまして、何かご質問やご意見がありましたら、ここで共有しておきたいと思います。まずは、ご質問をお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。

(質問なし)

次に、ご意見をお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。

委員 子育て拠点再構築方針の進捗状況をお知らせいただき、ありがとうございます。いよいよ来年、令和4年に尾崎保育所、尾崎幼稚園が統合され、認定こども園が開園するというところで、運営事業者が決まり、ひと安心しています。

まだ、建設工事等は始まっていないかと思いますが、地域にとって、とても関心が深いことです。

現在幼稚園や保育所に通われている方への対応とともに、市民に向けて、分かり次第、情報提供をしていただきたいと思います。

事務局 ご意見ありがとうございました。

現在、事業者と様々なことについて話し合っています。グラウンド部分については、新園舎を建てるのですが、校舎部分についても、事業者におかれましては、様々な事業の実施を考えています。時期が来てからにはなりますが、分かり次第、情報提供させていただきたいと考えていますので、よろしく願いします。

会長 ありがとうございます。

他の自治体でも、民間移管等、新たなものができる際は、どれだけきっちりとした説明を地域にされるかが、事業がうまくいくかどうか、かなり関わってくると思いますので、是非よろしく願いします。

委員 尾崎保育所と尾崎幼稚園の統合の後に、石田保育所と下荘保育所の統合の話があると思いますが、具体的なところが分からなくて、子どもを石田保育所に通わせたいと思っている保護者が、「子どもが通っている間に場所が変わってしまうのではないか」、「別の園を選ぶ方がよいのか」などと悩まれているようです。

今の時点で決まっていることについて、お聞きしたいです。

事務局	<p>石田保育所と下荘保育所の統合につきましては、第2ステージに位置付けています。</p> <p>第2ステージの整備につきましては、第1ステージの整備状況と社会情勢の変化、財源確保と併せて考えてくことを位置付けています。</p> <p>今のところは、具体的なことは決まっていますが、年度等が決まりましたら、保護者の皆さまにお伝えしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>もやもやしている保護者もいるので、現時点の情報や分かっている情報について、広報等に載せていただきたいです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>在園児とともに、地域への説明も重要になってくるかと思えますので、ご検討よろしく申し上げます。</p> <p>委員の皆さま、他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>コロナ禍における虐待について、虐待件数が増えているという報道があるようですが、実際の阪南市の状況について、言える範囲で教えていただきたいです。また、どのような対策をされているのかも教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>コロナ禍において虐待件数が急増しているという印象はありませんが、細心の注意を払って対応しています。</p> <p>現場の対応としては、自宅を訪問し、話を伺うなどにより、予防や早期発見、早期対応をしています。</p> <p>また、関係機関と連携をとりながら、見守り活動も実施しています。</p>
会長	<p>委員の皆さまの中で、実際に現場で子育て支援や教育、保育に関わっていらっしゃる方も多数おられると思いますので、何かお知らせいただけることがありましたら、お願いしたいのですが、いかがでしょうか。</p>

- 委員 虐待の件数としては、正確な数は分からないのですが、そのリスクを抱えている保護者はとても多いのではないかと思います。仕事が減るなど、生活への不安もあるでしょうし、学校が休校になった際は、ずっと家に居なければならず、多くのストレスを抱えながら過ごされていたように思います。そのような中で、阪南市においては、保育所や認定こども園などは、通常どおりに、また、つどいの広場や、にこにこルーム、NPO はらっぽの子どもセンターについても、運営していました。
- このように日常的に行ける場所があったことで、虐待に至らず保護者の支えになったこともあるのではないかと感じています。コロナ禍だからこそ、居場所があることの大切さを実感しています。
- 会長 ありがとうございます。
保育所、幼稚園での実際の取組についてはいかがでしょうか。
- 委員 保育所では、今年の緊急事態宣言の中でも開園していたこともあり、いつでも相談等を受けることができていたように思います。コロナ禍とは関係なく普段から保護者とのコミュニケーションを大事にしています。今後も保護者に寄り添うことを大事にしたいと考えています。
- 委員 同じようなことになりましたが、このような状況では、外に出ていくことを控えるので、子どもも保護者も、ストレスは、どの家庭にもあるのではないかと感じます。
- 幼稚園では、相談できる機関の紹介や、それを文書で出すことを心掛けたり、園のおたよりに、保護者の気持ちが少しでも和らぐような文章を載せたりしています。
- また、担任の先生が保護者の方に電話するときには、仕事の話になることもあります。直接的なフォローはできませんが、気持ちの面で前向きになってもらえるような話をするなどを心掛けています。
- 保護者の方が園に来られた際には、ソーシャルディスタンスに注意しながら、世間話をするなど、気持ちをほぐしてもらえるようにしています。

会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>学校や PTA 関係、市民委員の皆さまで気になられたことがあれば、この機会に共有したいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>色々な集まりのときに、子どもを連れてではなく、親だけで集まりたいと感じるときもあります。</p> <p>コロナ禍において、参観が減っているなど、情報交換のできる場が減っているように思います。コロナ禍に限らず、保護者だけで話ができる場があればいいと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>親同士で話せる機会は、大事だと思います。貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>コロナ禍における子育て支援ということで、商品券を頂いたと思うのですが、使えるお店が少なかったように思いました。私にとって、マクドナルドで使えたことはすごくありがたかったのですが、子育て支援と考えたときに、もう少し、子どもたちに何かしてあげられるようなものであればよかったですかと思えます。</p>
事 務 局	<p>昨年10月に、子育て世帯買い物応援事業として、500円券20枚を中学3年生以下の子どもがいる家庭に配布させていただきました。</p> <p>この事業は、子育て世帯の経済的な負担軽減と地域の消費喚起を図ることを目的として実施しました。阪南市内の一部の事業者でしか使えなかったことと、大型店舗では使えなかったことから、頂いたご意見かと思えます。</p> <p>今後、あるかどうかは分かりませんが、頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>

<p>委員</p>	<p>コロナ禍において、PTA 協議会の活動がストップしている状況にあり、これまで一度も集まれていない状況にあります。</p> <p>幼稚園、小学校、中学校ごとの PTA 活動もできていない状況にあるかと思えます。</p> <p>PTA の在り方として、面倒だとか、やりたくないという意見が多くありますが、このコロナ禍において、PTA 活動ができていないことが、「やらなくて良い」という感覚に移っているように感じて不安を覚えています。</p> <p>保護者が今年度楽だったから来年度も楽ではないかと考えて PTA 役員に立候補が殺到しているような側面があります。</p> <p>PTA 活動を盛り上げたいと思って役員に立候補される方と今後の役員の免除欲しさに立候補される方に分かれているのですが、本当に PTA 活動のことを考えている人が後回しにされている状況にあるのではないかと感じています。</p> <p>どうすれば、盛り上げていけるのかを考えていますが、コロナ禍において、集まるのが難しいので、不安に思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>これは、PTA 協議会の方だからこそ、言っていただける意見で、今後どうしていくか、特に終息したあとのリスタートについて、どうしていくのかを次年度以降の取組の中で、位置付けていただきたいと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>子育て支援とは若干異なるかもしれませんが、小学生、中学生を対象に見たときにコロナ禍において、教育の格差に開きが出てきていると感じています。</p> <p>例えば、うまく教科書を読めない子どもは、音読を重ねて読めるようになることがあると思うのですが、コロナ禍では、音読する機会が減ってしまったことで、できないものを残したまま進級してしまうことがあるのではないのでしょうか。</p> <p>コロナ禍では、夏休みや冬休みがほとんどなく、また、子どもたちに負担をかけないためにか、宿題も少なかったように思います。先生方も忙しく、例年以上に子どもたちに割ける時間が限られていたように思います。高校受験などに影響が出ないのかが心配です。</p>

また、コロナ禍において、家でずっとゲーム等をしていた子どもたちもいると思います。子どもたちの向上心や学ぶ機会が失われてしまっていないか危惧しています。

社会全体の働き方改革などで、学校の電話が18時以降は留守番電話に切り替わることや放課後の居残り授業がなくなるなどの状況にあります。子どもたちの学ぶ機会の確保が、今後の課題になるのではないかと感じています。

また、コロナ禍に限った話ではありませんが、引きこもってしまっている子どもと保護者、その子どもをどうにかして外に出してあげたいと考えている同級生や保護者が、学校の先生以外の相談先として、第三者機関や市役所などで相談できれば良いなと思っています。

会長 本来の議題から少しずれている部分がありますが、せっかくの機会なので、意見を出していただきました。

今後、どのようにしていくのかなど、この場で答えていただくことは難しいと思いますが、是非色々ご検討いただきたいと思っています。

委員の皆さま、ありがとうございました。

時間もなくなってきましたが、実績等の取りまとめについて、他にご質問やご意見ありましたら、お聞きしたいのですが、いかがでしょうか。

(意見なし)

もし改めて確認したいことがありましたら、事務局までお問い合わせください。それでは、議題1につきましては、これで終わりたいと思います。

議題(2) 特定教育・保育施設における利用定員の設定について

会長 では、議題2に進みたいと思います。特定教育・保育施設における利用定員の設定について、事務局からご説明をお願いします。

事務局	<資料3について説明>
会長	ありがとうございます。 ただいまの説明について質問等ございませんでしょうか。
委員	認定こども園の園舎は、新しく建てるということでしょうか。
事務局	そのとおりです。旧尾崎中学校のグラウンド部分に認定こども園の園舎を新しく建てる予定です。
会長	一番大きな論点は、新園の定員のうち、1号認定と2号認定の定員が既存の園である尾崎幼稚園、尾崎保育所の定員を下回るということですが、市全体として見ると、1号認定と2号認定の受入れ体制には問題ないという判断でご提案いただいておりますが、その点につきまして、ご質問やご意見いかがでしょうか。
委員	(仮称) 森のあるこども園の幼稚園部が105人の定員に対して、保育園部が120人の定員ということでしょうか。
事務局	現在の尾崎幼稚園の定員が105人であり、尾崎保育所の定員が120人です。
委員	(仮称) 森のあるこども園の定員が194人であって、幼稚園部と保育園部の内訳は決まっていないのでしょうか。
事務局	資料3の「尾崎地区の幼保連携型認定こども園整備に伴う教育・保育施設に係る利用定員(等)について」という表の②の行が、(仮称) 森のあるこども園の定員数となります。例えば、1号認定と書かれているところに60という数字があります。これは、(仮称) 森のあるこども園の幼稚園部の定員数を示しています。尾崎幼稚園の定員は105人ですが、(仮称) 森のあるこども園の定員は60人にしたいという提案です。
会長	ありがとうございます。 ちなみに、現在の尾崎幼稚園の在園児数は何人ですか？

事務局	令和2年5月1日時点で、35人です。
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>以前から幼稚園の定員そのものが設定上、多すぎるのではないかという議論がありました。</p> <p>60人というのは、現在の在園児数よりも少し多めの設定で考えられているということですね。</p> <p>このことにつきまして、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>1号認定、2号認定は実績に応じた数字で出てきているかと思います。3号認定の0歳児についてですが、今まで尾崎保育所の0歳児の定員が3人で、(仮称)森のあるこども園0歳児が6人ということで、プラス3人になっているので、少しでも0歳児の受入れ数が増えることは歓迎できます。</p> <p>上の子が公立保育所に通っていることから、年度途中から0歳児の下の子も同じ公立保育所に入所したかったのに、入れなかったと聞くことがあります。結果的に下の子が認可外保育所に行くことになれば、待機児童数に含まれない場合があると聞きます。</p> <p>年度途中でも、希望した園に入れるように考えていただきたいと思っていたので、少しでも定員数が増えたことは嬉しいことだと思っています。</p>
会長	事務局からこのことについて何かありますか。
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>国の基準である4月1日、10月1日時点にさえ、待機児童が発生しないようにすれば良いという考え方をしている市町村もある中で、本市の第2期阪南市子ども・子育て支援事業計画における量の見込みは、年間どれくらいの申込状況があるかという観点から年度途中の申込みにも一定の対応ができるよう設定をさせていただいています。</p> <p>これを踏まえ、(仮称)森のあるこども園の3号認定については、現在の尾崎保育所を上回る定員設定とすることを考えていることから、今回の提案としています。</p> <p>次の議題でもご説明させていただくこととなりますが、年度</p>

途中の入所は、低年齢になればなるほど保育所や認定こども園に入りにくい状況にあります。

本市では、弾力化により、定員を超えて受け入れることで、保護者の希望に添えるよう努めています。

会長 ありがとうございます。

委員 先ほどの議題1の説明の際に、保育所の時間外保育事業では、実績が見込みより多く、対応に苦慮したとありました。これまで保育士の確保の難しさは言われていたと思いますが、量の見込みだけでなく、保育士の確保方策についてもお願いしたいと思います。

会長 ありがとうございます。

非常に大きな課題となっています。保育士不足が指摘されていますが、保育者養成校に入学する学生も減ってきています。大学と連携がとれるような仕組み作りも含めて、ご検討いただきたいと思います。

他に、ご質問やご意見はありますか。

(意見なし)

議題2につきましては、審議案件になっています。事務局の提案どおりに設定しても良いという方は、挙手をお願いします。

(挙手多数)

ありがとうございます。

本日も出席の全ての委員が挙手していると認められます。したがって、議題2 特定教育・保育施設における利用定員の設定につきましては、事務局が提案したとおりの設定とすることを阪南市子ども・子育て会議条例第6条第3項の規定に基づき、承認したものとします。

今後の手続を、事務局にて進めていただきますようお願いいたします。

議題（３）第２期阪南市子ども・子育て支援事業計画の変更について

会 長 次に、議題３に進みます。
議題３ 第２期阪南市子ども・子育て支援事業計画の変更について事務局からご説明をお願いします。

事 務 局 <資料４について説明>

会 長 ありがとうございます。
議題２の際にご質問いただいた内容についても改めてご説明いただきました。

何かご質問やご意見等ありますでしょうか。

（意見なし）

一番重要な議論に関しても、先ほど、事務局から弾力的に受け入れるとご説明いただきました。

できるだけ、きょうだいバラバラに入園することのないよう取り組んでいただきたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

議題３につきましても、議題２と同じく、審議案件となっています。こちらの議題につきましても、事務局の提案どおりに計画を変更しても良いという方は、挙手をお願いします。

（挙手多数）

ありがとうございます。

本日もご出席の全ての委員が挙手していると認められます。したがって、議題３ 第２期阪南市子ども・子育て支援事業計画の変更につきましては、事務局が提案したとおりに計画を変更することを阪南市子ども・子育て会議条例第６条第３項の規定に基づき、承認したものとします。

事務局から大阪府に対して、計画の変更に関する手続を進めてくださいますようよろしくお願いします。

議題（４）その他

- | | |
|-------|---|
| 会 長 | それでは、議題（４）その他に移ります。
何かありますでしょうか。 |
| 委 員 | 水野市長が市長選挙のマニフェストに子どもの権利条約条例の策定を掲げられていたと思います。関心がありますので、いつからどのように進められていくのかお伺いしたいです。 |
| 会 長 | 事務局で把握されていることがあれば、お願いします。 |
| 事 務 局 | 現在、他の先進自治体の情報を収集しながら研究、検討を重ねています。他の自治体では、3年程度かけて議論しながら進めている事例もあります。具体的な取組内容が整いましたら、改めて情報発信させていただきます。 |
| 会 長 | ありがとうございます。
非常に積極的な取組だと思います。阪南市では子どもを大切にしているということにつながれば、非常に意義があることだと思いますので、会議としても動向を見守っていきたいと思います。
他になれば、事務局からお願いします。 |
| 事 務 局 | 今年度の会議につきましては、本日で終了となります。
委員の皆さまにおかれましては、本年8月までが委員の委嘱期間となっておりますが、次回の会議につきましては、8月末までに開催できるか分かりません。9月以降も引き続き委員をお引き受けいただける方もいらっしゃるかと思いますが、ひとまず、ここでお礼申し上げます。
委員の皆さまには、主に、第2期阪南市子ども・子育て支援事業計画の策定に携わっていただき、誠にありがとうございました。
なお、今後の委員の選出につきましては、改めて、事務局からご連絡させていただきますので、その際はよろしく申し上げます。 |

会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私からも改めて、皆さまにお礼申し上げます。</p> <p>これまで多く議論してきた、子育て拠点についても見え始めてきています。今度ともどうぞよろしくお願いします。</p> <p>中西副会長、何かありますか。</p>
副 会 長	<p>最初の議題で言えばよかったのですが、支援事業計画については、「連携を密にする」、「強化する」と各課が考えられています。一番大事なことだと思います。今は、実態を正確に把握することも大事だと思います。</p> <p>年齢の縦軸や機関、組織の横軸を実質的につなげていただきたいと思います。</p>

次第3 閉会

会 長	<p>本日の議題は全て終了いたしましたので、会議を終了します。これ以降の進行は事務局をお願いします。</p>
事 務 局	<p>皆さま、お疲れさまでした。</p> <p>また、円滑な会議運営にご協力いただきありがとうございました。次回の会議につきましては、先ほども申し上げたとおり、来年度となりますので、改めて事務局からご連絡します。</p> <p>それでは、これをもちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>